

男の子って、 どうしたら 勉強 するの ？

中井俊已

(教育評論家)

男の子の学力を
伸ばすには、
男の子に効果的な
勉強法がある！



はじめに

男の子と女の子の育て方が違うように、効果的な勉強法も違う

男の子と女の子の育て方は違って当然

「男の子の育て方って、難しい」

という声をお母さんたちからよく聞きます。

落ち着きがない、危険なことをしたがる、顔や服が汚れても気にしない、忘れ物が多い、幼稚で下品なことをしたがる……。

いちいち注意するのだけれど、聞いているのか聞いていないのか、また同じことをくり返す。

しつじけは大事なので、ちゃんとやらせようとするのだけれど、小言が多くなるわりには効果なし。

ほんのささいなことでも、毎日のように小さなバトルがあって、お母さんは疲れぎみです。

「もう、男の子って、どうしてこうなの？」

と、つぶやく日々が続くのです。

さらに子どもが小学生になると、また新たな悩みが生まれます。

勉強です。

入学当初はよかったけれど、学校生活に慣れてくると、適当に手を抜くようになります。

自分から机に向かって勉強しなくなる。宿題を忘れるようになる。

なのに、ゲームやテレビには夢中。

学校のこととはほとんど話さないし、授業中にまじめに聞いているのかどうかも心配になる。

「まだ宿題してないの？」

「言われる前にやりなさいって、いつも言われてるでしょー」

などと小言が多くなり、ますます疲れ、ため息の出る日々となります。

そして、そういう男の子を育てながら、賢明なお母さんはだんだんと実感するわけです。

男の子って、女の子（自分）と違う……。

そうなのです。そのとおり。男の子は、女の子と違います。

もちろん個人差はありますが、一般に男の子と女の子は、興味や関心、行動や学習態度、成長の

スピード、得意分野、脳の働きなど、あらゆる違いがあります。

ですから、しつけ、生活習慣、学習習慣など、目標とすることは同じであっても、男の子と女の子では、まず同じようにはいきません。

女子(自分)とは違って、男の子のペースといつものがあるのです。

それをお母さんが、女の子(自分)の尺度で、「これくらい、ちゃんどできなきゃダメ」と考えてしつけようとすると、どうしても無理が生じ、互いにストレスがたまります。

男の子には、男の子にふさわしい育て方があるのです。

それは、勉強法についても同じです。

男の子の効果的な勉強法は、女の子の勉強法と違う

私は、私立小中一貫の男子校で教えていた23年間、どうすれば男の子を伸ばすことができるか、仲間とともに日々悩みながら実践してきました。

近くに同じ学園の小中一貫の女子校があり、女子と男子の違いも目の当たりにしてきました。

そうして、先輩・同僚の教師や、親御さんたち、子どもたちから、実に多くのことを教えていただきました。

それを一言でまとめると、**男の子の学力を伸ばすには、男の子にふさわしいやり方がある**ということです(もちろん、女の子には女の子を伸ばすやり方があります)。

その子に合ったやり方であるのももちろんのこと、男の子に合ったやり方でアプローチしたほうが、より効果的なのです。

学習することを楽しみ、自分から勉強をやりだすようになります。

それに応じて、学力もぐんぐん上がってきます。

この本は、小学1年生から3年生くらいまでの男の子をもつお母さんのために書きました。

この本をヒントに、ご家庭でのしつけや勉強法・学習習慣を変えていけば、必ずや息子さんは変わっていくはずです。

今はまだペースはゆっくりしているでしょうが、将来は自分の夢を実現できる、強く賢い男の子に育っていくと確信しています。

（第3章） 男の子の学力を伸ばす 家庭学習のヒント

1	子ども部屋でダラダラ、どうしたらいいの？	72
2	勉強を長続きさせるには、どうしたらいいの？	76
3	勉強をやる気にさせるには、どうしたらいいの？	80
4	勉強をやる気にさせるには、どうしたらいいの？	続き
5	どうしたら楽しく勉強するの？	84



6	どうしたら集中して聞く力をつけられるの？	92
7	学習面で好きなことがない、どうしたらいいの？	96
8	どうしたら本が好きになるの？	100
9	どうしたら考える力がつくの？	104
10	どうしたら言葉の力がつくの？	108
11	土日や夏休み、どう過ごさせたらいいの？	112

お母さんのための 元気が出る魔法の言葉 「お母さんの笑顔が好き」 116

（第4章） 学校の学習へのアドバイス

1	授業に集中していないみたい……どうしたらいいの？	118
2	宿題をやらない、忘れる……どうしたらいいの？	122
3	学校で忘れ物が多い……どうしたらいいの？	126
4	学校の授業についていけない……どうしたらいいの？	130
5	嫌いな教科、苦手な教科は、どうすればいいの？	134
6	先生とうまくいかない……どうすればいいの？	138
7	テストの結果、どう受けとめたらいいの？	142
8	テストの結果、どう活用したらいいの？	146
9	通知表の結果、どう受けとめたらいいの？	150

10 通知表の結果、どう活用したらいいの？ …… 154

● お母さんのための元気が出る魔法の言葉 「やっぱり運がいいー！」 …… 158

(第5章) わが子の将来を考えると、

今できること



1 「べつして勉強しなくちゃいけないの？」と聞かれたら？ …… 160

2 どうしたら夢や目標に向かってがんばる子になるの？ …… 164



3 わが子の将来が心配、親として心がけることは？ …… 168

おわりに 男の子は、大好きなお母さんから学んでいる …… 172

巻末資料 男の子に効く！魔法の言葉 …… 174

装丁・本文デザイン／原てるみ(milli design studio)
マンガ／ミニカ・菊地やえ
編集協力／上保匡代・鷺山知子・りゅうのすけ



どうしたら
「やりなさい」「早く」
と言わないのですもの？

しっかりした生活習慣が身についた子は、学校での授業態度や、考える活動に良い影響を与え、学力向上につながります。

男の子も、「毎日やること」の基本は、きっちりと自分でできるようにさせたいものです。でも、いちいち親が、

「あれはした？」

「まだやってないでしょ」

「言われる前にやらなきゃダメよ」

なんて言つのも疲れますね。言われるほうも疲れます。

第一、それでは子どもの自主性が育ちません。

では、どうすればいいのでしょうか。

ある賢いお母さんは、「自分でやること表」なるものを作りせていました。

朝と夜に分けて、「毎日やること」の基本をチェックリストにしています。

【朝】 ・ 着替え ・ 名札 ・ 朝ご飯 ・ 歯磨き

【夜】 ・ 宿題 ・ 勉強 ・ 時間割 ・ タご飯

・ お風呂 ・ 歯磨き

など、「やること」をお子さんと話し合っ決めてます。

次に、「やること」を縦軸、月曜から日曜の日にちを

横軸に書いた表を作ります。

自分でやること表		10/1	10/2						
朝		○	○						✓
着替え		○	○						✓
名札		○	○						✓
朝ごはん		○							✓
歯みがき		○							✓
夜		10/1							✓
宿題		○							✓

第2章 男の子の学力を引き出すしつけのヒント

これを冷蔵庫の扉など、お子さんの手が届きやすいところに貼っておきます。そして、「やること」ができたら、自分で1つずつ〇をつけさせていくのです。表は、パソコンでも手書きでもよいですが、日にちだけ書きこめるように作り、何週間分かコピーしておくトラクです。

男の子ががんばっているイラストや、好きなキャラクターのシールを添えると、子どもは喜びます。

また、手軽に書きこめるよう、表のそばに鉛筆やペンを置いておきましょう。

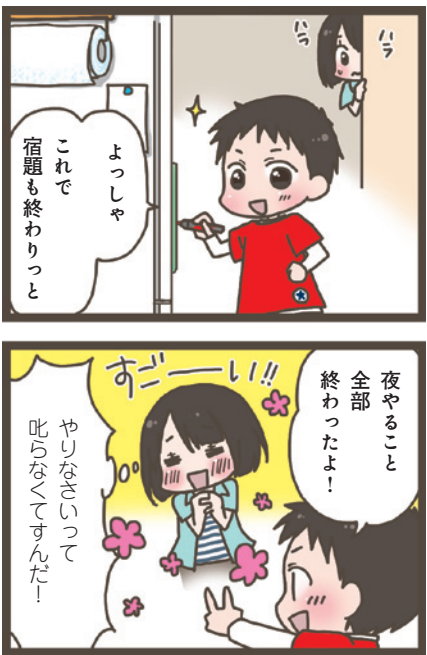
これで、親がいちいち言わなくても、自分でやるようになります。

親は、表をときどき見て、「昨日は4勝2敗だったね」などとほめてやればよいのです。

自分の決めたことを1つずつ攻略できるので、男の子には達成感があります。

また、時間内にやらなければいけないことが見通せるので、自己管理ができるようになります。

でも、「やること」があまり多くなりすぎたり、難しくなりすぎたりしないようにしましょう。最初は、がんばればできそうなこと、1つにしぼったほうがいいかもしれません。子どもにとって、新しいことを始めて、それが習慣になるにはやはり時間がかかります。でも、その1つを続けることで、学習面にも必ず良い影響が出てきます。



「やること表」を作り、自分でやる習慣をつけさせよう。





勉強をやる気になせるには、どうしたらいいの？ 続き

「漢字を10回ずつノートに書きなさい」という課題も、女の子なら難なく取り組めても、一部の男の子には続けるのが難しくなります。

もちろん、こつこつくり返りする勉強は効果がありますが、単調な勉強は男の子にとっては、「退屈でめんごー」なのです。

また、小学生でも勉強がだんだん難しくなって、わからなくなると、勉強が嫌いになってくる子が増えてきます。

そうなる前に、手を打たなくてはなりません。どうすればいいのでしょうか。

小学生は本来、勉強が好きです。

勉強して新しいことを習うのは楽しいし、賢くなれると、子どもたちは知っています。

普通、子どもは勉強して賢くなりたいと思っています。

そして、**できれば楽しく学んで賢くなりたいと思っています。**

勉強のやり方も、ちよつと工夫をすれば、おもしろく楽しくできます。

学校の授業だけでなく、家庭でもできることがあります。

勉強をおもしろいと思うようになれば、しめたもの。

男の子の意欲に火がついて、自分から勉強をやりだします。



第3章 男の子の学力を伸ばす家庭学習のヒント

前述の「漢字を10回ずつノートに書きなさい」という漢字練習も、やり方によってはおもしくることができます。

例えば、「漢字の自己練習・自己テスト」方式。

漢字練習は、ただ単に漢字をノートのマス目に埋めるだけでは意味がありません。

目的は、漢字を覚えること(読んで書くこと)です。

そこで、**練習回数は自分で決めさせ、何回か練習して、「もう覚えた」という自信がつけば、自分でテストさせるのです。**

テストのやり方は、前に練習した漢字を紙で隠して、ノートの次のマス目に見ないで書かせるだけです。

間違えずに書ければ合格！

ならば、10回も書く必要はありません。

もし間違えていれば、

「間違えた漢字だけ、もう3回練習してから、再チャレンジね」

というように決めておきます。

すると、もっと集中して、短時間で漢字を覚えられるようになります。

男の子にとっては、ただ機械的に練習するだけでなく、「全部覚えた」「合格した」という達成感があるので、チャレンジする学習のほう楽しいのです。

男の子の場合、勉強でも運動でも「練習→チャレンジ→達成感」のサイクルのうち、チャレンジの部分にウエートを置くと、ワクワク感をもってやる気を出します。



練習ばかりより、チャレンジさせて楽しく！





テストの結果、 どう受けとめたら いいの？

テストの結果は、これから子どもが伸びていくための良い資料だと考えることです。
もし結果が良ければ、子どもがいつそう自信をつける機会になります。
もし結果が悪ければ、これからもっと伸びていくチャンスになります。
どちらであっても、子どもが成長していくために活用できるのです。
「うちの子はテストを見せてくれない。どうすればいいんですか？」
と尋ねられたことがあります。それは、悪いテストを見せれば怒られるとわかっているからです。

親が怒らなければ、隠したり、ごまかしたりすることはしないでしよう。
ですから、**避けたいのは、悪い結果を親が怒って、一方的に叱りつけることです。**
「えっ、なあに、この点!？」と驚くことはあっても、
「おまえはダメね」
「誰に似たのかね」
などと、子どもの能力や人格を否定するのはいけません。
紙に書かれたテストの結果は、現在の子どもへのすべ
ての能力や人間性を評価しているわけではありませ
ん。
それに、親の働きかけや本人の努力によって、その
テストをきっかけに子どもはどんどん伸びていくもの
なのです。



まず、できているところを認める、ほめる。

できていないことに目を向ける前に、まずできていることを認めてあげるのです。

70点のテストでも、70%のこともできていると考える。

50点のテストでも、半分もできていると考えるのです。

そもそも、すべてにおいて100%は、無理です。

そんな完璧な人間はどこにもいません。

人間は失敗するもの、失敗を糧かてに成長していくものと考えます。

しかし、その前に、「全部が失敗ではなく、できていることがたくさんあること」を、親

がまず認めてあげること。

ですから、点数だけでなく、内容も見ても、ほめるところを見つけましょう。

「名前が丁寧に書いているね」（中学生でも名前を書き忘れる子がいますから）

「数字がきちんと書いているね」（これは計算で大事）

「最後までやって、全部に答えを書けているね」（つまりベストを尽くした！）

「こんな難しい漢字、よく読めたね。練習した成果だね」

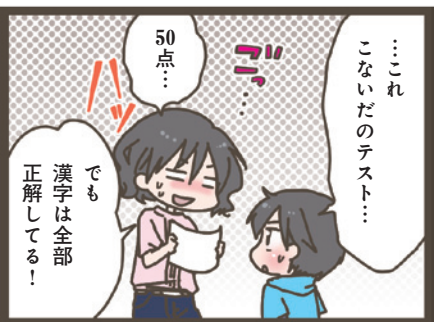
など、前に注意したことや努力目標にしていたことができていれば、それを認めてあげましょう。

子どもは、ほめられたことがうれしくて、またやりたくなります。

やる気をもって取り組みます。

そうすれば、これから先、「で

きること」が少しずつ増えていくのです。



まず、できているところを認めよう。



男の子に効く! 魔法の言葉

【効果】 1) やる気低下 2) 成績低下 3) その他 困った状況に

【用法・用量】 お子さまの状況に応じて、どうぞご活用ください。



おもしろそうだね
(やる気を引き出す言葉)



強いね
(能力を伸ばす言葉)



ありがとう
(感謝の言葉)

だいじょうぶ
(肯定的な言葉)



お兄ちゃんに
なったね
(人間性を伸ばす言葉)



○○ちゃんなら
できるよ
(前向きにする言葉)

すごい!
さすが、
○○ちゃん
かっこいい!
(いろんな場面で
男の子が喜ぶ言葉)



大好きだよ
(愛のある言葉)



中井 俊已(なかい・としみ)

1959年生まれ。私立小・中学校に23年間勤務後、2005年より作家・教育評論家として、執筆・講演などで幅広く活躍中。2009年日本で唯一の研究会、日本男女別学教育研究会を発足し代表となる。著書に、『子どもの「いいところ」を伸ばすほめ言葉ブック』『元気がでる魔法の口ぐせ』『マザー・テレサ愛の花束』(以上、PHP研究所)、『なぜ男女別学は子どもを伸ばすのか』(学研パブリッシング)など約50冊。

メルマガ「教育プラスアップ1」を毎週配信中。

ホームページ<http://www.t-nakai.com/>から登録できる。

男の子って、どうしたら勉強するの？

2013年10月22日 初版第1刷発行

著者 中井 俊已

発行人 土屋 徹

編集人 黒田 隆暁

編集長 松田 こずえ

発行所 株式会社 学研教育出版

〒141-8413 東京都品川区西五反田2-11-8

発売元 株式会社 学研マーケティング

〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8

印刷所 中央精版印刷株式会社

DTP 有限会社 新榮企画



この本に関する各種お問い合わせ先

【電話の場合】 ○編集内容については Tel 03-6431-1545 (編集部直通)

○在庫、不良品(乱丁、落丁)については Tel 03-6431-1250 (販売部直通)

【文書の場合】 〒141-8418 東京都品川区西五反田2-11-8

学研お客様センター『男の子って、どうしたら勉強するの?』係

※この本以外の学研商品に関するお問い合わせは下記まで。

Tel 03-6431-1002 (学研お客様センター)

©Toshimi Nakai Printed in Japan 2013

本書の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。

本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。

複写(コピー)をご希望の場合は、下記までご連絡ください。

日本複製権センター <http://www.jrcc.or.jp> E-mail:jrcc_info@jrcc.or.jp TEL:03-3401-2382

☒(日本複製権センター委託出版物)

学研の書籍・雑誌についての新刊情報・詳細情報は、下記をご覧ください。

学研出版サイト <http://hon.gakken.jp/>